

自ら考え 共に輝く

○表現する力をもった子

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
育ってほしい児童の姿	入学当初の児童の姿 入学当初の児童の姿を見る視点 ○今までにどのような経験をしているか。 ○何が得意か。 ○何が不安か。（困っている） ○配慮することはないか。 ○コミュニケーションがとれているか。 自立 成長 安心 期待する児童の姿 自立と協働の精神をもち、他者を思いやれる児童の育成 ○自分の成長を振り返り、さらに探究する。 ○活動に主体的に関わり、自ら問いをもつ。 ○相手や目的に応じて表現の仕方を考える。 ○友達の考えを認め合う。					自分のできるようになったことを、さらに伸ばそうと努力している。								
主な学習活動	【がっこうとなかよし】 生活「みんななかよし」 国語「なんていおうかな」 生活「2年生とがっこうたんけん」 国語「こんなものみつけたよ」 算数「10までのかず」 道徳「あかるいあいさつ」 学活「はじめての小学校」 【ともだちとなかよし】 国語「どうぞよろしく」「よくきいてはなそう」 音楽「うたってなかよくなろう」 生活「なつはおもしろいことがいっぱい」 （水でっぼう・しゃぼんだま・色水・おし花） 図工「すなやつちとなかよし」 行事 遠足（異学年と） 【しぜん だいすき】 生活「いきものとなかよし」 国語「うみのかくれんぼ」 「しらせたいなみせたいな」 道徳「そらいろのたまご」 生活「ようこそ あきのテーマパークへ」 【もうすぐ2年生】 国語「いいこといっぱい1年生」 国語「てがみでしらせよう」 （6年生にありがとうをつたえよう） 生活「大すきな学校へようこそ（新1年生へ）」 「ぼかぼか大きくせん（かぞくへ）」 道徳「大すきだから」													
（人・もの・こと等）環境構成	人 ・児童と一緒に活動を楽しみ、肯定的な声かけや必要に応じた個別の支援により信頼関係を築く。 ・地域ボランティアや保護者との連携。 ・6年生とのかかわり。（給食・掃除・休憩中など） もの ・順番・整理整頓・時間など、言葉や絵、時計やタイマーを用いた視覚支援を行う。 こと ・カリキュラムマネジメントを積極的に行い、一単位時間を柔軟に扱う。 ・各学期初めの朝学習の時間帯を「ゆったりタイム」とし、自分で遊びを選択して過ごすことができるようにする。 （4月・2学期初め2週間・3学期初め2週間）					もの ・使いたいものが手に取れる環境。 （空き箱、卵パックなどなど） 人 ・柔軟な学習形態。 （場所・ペア・グループなど） こと ・学校行事を軸にしてスモールステップの目標をもつ。								
との連携	園・所 ・校内授業研（低学年）を園所の職員に参観してもらう。 ・校区合同研修を園所の職員に参観してもらう。 ・長期休業中に園所の様子を参観させてもらう。（参観後、活動の意図等質問を行う時間を設定してもらう。）					・音楽発表会前、体育館練習を園所ごとに自由に見学に来る。 ・旭学区ふれあいフェスタで、出演学年とリハーサルで交流する。 ・入学説明会（1月）で5年生と、新1年生を迎える会（2月）で1年生と交流。 ・新年度入学予定児童の様子を共有する。（幼保小連絡会）								
連携の組織と	組織と ・幼保小連携教育合同協議会（第1回）					・幼保小連携教育合同協議会（第2回）2月								
家庭との連携	4月 ・子どもが学校での出来事を話す宿題を出す。 ・宿題・時間割の確認のお願い（気持ちのよいスタートのため） 6月 ・給食試食会をもつ。					通年 ・図工・生活などの材料集めの依頼。 ・長期休業明けに「早寝・早起き・朝ご飯」を意識してもらう。 ・クラスルームの活用 ・学年通信やクラスルームで学校での様子を伝える。								
備考欄	※日々の連絡事項、時間割や持ち物の準備など、クラスルームで発信するとともに、使い方に慣れてもらう。 ※ロイロノートで、演奏動画や音読動画を提出してもらうことで、お家の人にも使い方や用途を知ってもらう。													